

## 「町立幼稚園・保育所再編整備計画（案）」に関する 意見募集の実施結果について

令和5年11月24日（金）から令和5年12月25日（月）までの期間で、「町立幼稚園・保育所再編整備計画（案）」について、パブリックコメントを実施し、ご意見を募集してまいりましたので、その結果及び意見に対する回答をご報告いたします。

貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。

### 1. 提出方法

方法	人数・団体数	意見の件数
持参・郵送・FAX	2名	2件
電子申請	1名	6件
計	3名	8件

### 2. 意見の概要とそれに対する町の考え方

該当箇所	意見の概要	町の考え方
2ページ	<p>「計画策定の背景と目的」として、「町立幼稚園・保育所未来プロジェクト提言書」の内容を踏まえて今回の計画案を策定したことを強調して説明しています。それならば「町立幼稚園・保育所未来プロジェクト提言書」が資料として必要でしたが町民への公表がされていなかったため、今回の意見募集は内容以前に形式の面で不十分です。十分な形式にするには、「町立幼稚園・保育所あり方検討会議」の構成委員及び委員長名での「提言書」を町民に公表し、それを今回の計画案に添付のうえで意見を求めることが必要であったと考えます。</p> <p>したがって今回は資料不足のため、町民は十分な検討がまだできていません。公表情報不足のまま、まちづく</p>	<p>今回の再編整備計画（案）につきましては、「町立幼稚園・保育所未来プロジェクト提言書」の内容を踏まえて検討しておりますが、内容については町立幼稚園・保育所の施設の再編整備に焦点を当てたものです。</p> <p>計画策定にあたって参考とした未就学児童数の推移等の現況については、最新の状況も含め加筆して作成しており、策定にあたっての基礎資料としては、本再編整備計画（案）に記載のものとなりますので、ご理解頂きたいと思っております。</p>

	<p>りの根幹に関わるこの重要案件を進めると町政への不信を招くことになると考えます。</p>	
2 ページ	<p>「計画策定の背景」として「町立保育所の建て替えに関する提言書（改訂版：令和元年）」が関係します。しかし今回の計画案にはこの提言書を踏まえた検討結果についての内容が不足しています。</p> <p>この提言書により建替えが提言された保育所のうち、中央保育所は建替完了しましたが、仲原保育所は今回の計画案でも「今後の検討」とし、先延ばしを続けています。しかし、仲原保育所の建替えについて決断しないままでは再編整備計画の策定はできないのではないのでしょうか。</p> <p>また、この提言書では「認定こども園として施設の集約化を図ること」も検討すべき事項とされていましたが、それについての検討結果が今回の計画案に全く記載がありません。記載してください。</p>	<p>以前から仲原保育所の建替えについて検討を行っておりますが、中央保育所と違い園庭が狭隘で敷地内での建替えができず、代替となる土地の確保等も難しい状況です。</p> <p>また「認定こども園として施設の集約化を図ること」について、現在の幼稚園については施設・設備等の問題、保育所においては待機児童の現状や土地の確保の問題等により、すぐに認定こども園とすることは難しい状況であります。</p> <p>ご指摘の案件につきましては、どちらも課題として認識しているところでございますが、今回の再編整備計画（案）については、令和6年度から4年間において実施可能で、進めていくものを記載しておりますので、ご了承ください。</p>
2 ページ 16 行目	<p>「幼児教育・保育の無償化」とありますが、入園金や制服代など、私立になると今でも支払う金額には差があり、私立に通園させるかとても迷います。</p> <p>中央・仲原エリアに住んでいる人達は、本当に今、どこの幼稚園に行かせるか迷っている家庭が沢山あります。</p> <p>人口増加を目指しているのであれば、町立幼稚園へ通いやすくする為に、エリア外から希望する人は、園バ</p>	<p>ご指摘のように、町立幼稚園を希望される保護者は、一定数いらっしゃる、幼稚園を選ぶにあたって、費用や通園方法、保育時間等、様々な条件でお悩みであると考えています。</p> <p>今回の再編整備計画（案）については、施設整備の計画のため内容に含めておりませんが、今後の町立幼稚園の在り方において、継続していくための施策を検討しており、送迎バスについても検討事項の一つとしております。</p>

	<p>ス（送迎バス）を出して頂く事を強く要望いたします。</p> <p>また、早くこの様な案について知りたかったと言う人は沢山います。3歳児健診の時や幼稚園の在園児の保護者だけでもアンケートを実施して頂きたかったと思います。</p>	<p>他の施策を含めて、慎重に検討してまいりたいと思います。</p> <p>また、アンケートの実施については、「幼児教育・保育の無償化」以降、町立幼稚園の在園児数が減少し、大川・西幼稚園において3歳児保育を開始しましたが入園希望者の減少傾向が続くなど、急激に環境が変化し、早急に町としての方針を決定する必要があったことにつき、ご了承いただきたいと思ひます。</p>
11 ページ	<p>数年間乳幼児を育てる中で家庭の状況が変化したため、町立保育所と町立幼稚園のどちらも利用することもあるように、家庭の状況により保育所と幼稚園はどちらも必要となりますが、今回の計画案では幼稚園を閉園することとしており、町立幼稚園利用希望者を切り捨てるだけの内容となっています。これでは、特に仲原幼稚園の地域において通う場所に困る家庭が発生することが予想されます。それにもかかわらず今回の計画案には、切り捨てられた家庭がどうすれば良いかの内容がありません。切り捨てられた家庭のために、粕屋町が頼る想定の子園名及び想定人数を記載してください。</p>	<p>2幼稚園の閉園後に通園が想定される幼稚園としては、大川・西の2つの町立幼稚園（各定員100人）のほか、町内外の私立幼稚園で既に送迎バスを運行している幼稚園があります。</p> <p>また、令和6年度年中児の入園予定は、仲原幼稚園4名、中央幼稚園9名です。</p> <p>仲原・中央の2幼稚園の閉園後についても、それぞれのご家庭において、通園（手段を含む）の可否や、登降園の時間など、様々なサービスを勘案して決定されていくものと考えます。今後、大川・西の2つの町立幼稚園についても、保護者の皆様の選択肢の一つとして、取り組みを検討してまいります。</p>
11 ページ	<p>保育所入所条件に適合しない家庭は幼稚園を利用するしかないと、幼稚園を閉園すれば通う場所の確保が困難になる家庭が発生することが予想されます。そこで、幼稚園は閉園ではなく保育所との統合により認定こ</p>	<p>現在の幼稚園については施設・設備等の問題、保育所においては待機児童の現状等により、どちらもすぐに認定こども園とすることは難しい状況であります。</p> <p>子育て環境の整備については、現在</p>

	<p>ども園へ移行し、全家庭の状況に対応できる子育て環境を整備することが必要と私は考えますし、町議会等でも同様の意見が出され続けてきましたが、できないのでしょうか。</p>	<p>国も様々な施策を示しており、町においても子育て支援の施策を進めていく予定です。認定こども園への移行についても、施策の一環として、今後の課題といたします。</p>
11 ページ	<p>粕屋町内の道路は狭く歩道が少なく、歩道があっても狭く大きな段差があり、自家用車と自転車と徒歩のどの交通手段であっても乳幼児を連れて通うことに大変苦勞しました。</p> <p>もし今後町立保育所を減らした場合、近くの町立保育所がなくなった家庭は移動で苦勞することになりますので、家から近い町立保育所に通うことができる粕屋町の子育て環境を若い世代のために存続させることを希望いたします。</p>	<p>今後も子育てに関する環境については、変化していくものと考えております。</p> <p>立地の問題だけではなく、住民の皆様が子育てしやすい環境になるように取り組んでまいります。</p>
11・12 ページ	<p>0～2歳児の需要が高いのは分かるが、町立幼稚園を閉園してまで確保する必要があるのか。</p> <p>私立の幼稚園では、発達特性がある園児で、加配の先生がつけられず、入園は難しいと言われても、町立幼稚園では、あたたかく迎えてくださりました。また、小学校も近いので通学の練習にもなります。</p> <p>町立幼稚園について、3歳児の受け入れ、給食の実施、預かり保育の延長など施策を行ったうえで、園児数が伸び悩むようであれば閉園を考えてはいかがでしょうか。</p>	<p>現在の入園希望の状況等からも、今後について保育所の需要の方が高いことが見込まれます。ご提案の施策については、施設改修や人員配置の問題等があり、実施までの間にも更なる園児の減少が考えられるため、今回の再編整備計画（案）の実施に合わせて、検討していくことといたしました。ご理解頂きたいと思います。</p> <p>発達特性がある乳幼児については、幼稚園だけでなく、保育所においても増加傾向がみられます。今後の子育て支援の施策において検討すべき課題であり、子ども家庭相談の観点からも取り組みを進めたいと考えております。</p>
全体	<p>町立幼稚園・保育所は、支援を必要とする子達を手厚く受け入れる公立</p>	<p>小・中学校の学力と町立幼稚園・保育所の幼児教育との相関関係につきま</p>

<p>施設としても重要ですが、同時に優秀な子達を多く輩出した実績もあると思います。</p> <p>その1つとして、粕屋町の小・中学校の学力が高いのは町立幼稚園・保育所の幼児教育の成果でもあると、私は身近な子達の様子から実感してきました。数値で出せる待機児童数等の指標と違い、教育の成果はデータで出しにくい指標ですが、平成29年に9,005人の署名のもと「粕屋町保育所新設及び町立保育所存続を求める請願」が出されたことから、町立幼稚園・保育所の幼児教育実践への評価は高いことが示されてきました。</p> <p>しかし粕屋町は、町立幼稚園・保育所について過少評価して情報発信しているように感じております。</p> <p>令和5年7月に公表された「町立幼稚園・保育所未来プロジェクト提言書（素案）」に対し寄せられた意見においても、町立には魅力があるのにその発信が不足している旨の意見がありました。私も同意見です。もっと町立幼稚園・保育所の魅力の面を発信してほしいです。</p>	<p>しては、把握が難しいところではありますが、住民の方々から町立幼稚園・保育所の幼児教育の実践に対して評価して頂いていることは、大変喜ばしいことであり、大事にしていくべきことであると考えております。</p> <p>今回の再編整備計画（案）は、施設整備の計画のみではありますが、「町立幼稚園・保育所未来プロジェクト提言書」においては、町立幼稚園・保育所の情報の発信に努めるよう提言もなされており、今後、町立の魅力を積極的に発信する取り組みを進めてまいります。</p>
---	---